

にしとみおか・なかじま2  
西富岡・中島2遺跡

伊勢原市No.212

調査期間 2019年4月1日～調査中

所在地 伊勢原市西富岡

時代 近世、中世

調査原因 一般国道 246 号（厚木秦野道路）  
建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査

遺跡位置 小田急小田原線伊勢原駅北西約 3 km  
の渋田川東側微高地上



### 主な調査成果

中島2遺跡では、江戸時代の耕作跡が発見されました。斜面地を平らに造成し、耕作を行っていたようです。一部では、畝の畝間を拡幅して1707年の富士山の噴火で降り積もった灰を捨てた状況も確認できました。下段となる中島遺跡でも江戸時代の耕作跡が見つかっています。県道603号建設関連の調査では、川より高い上段から中世の建物跡が発見されています。川沿いの低い一帯は、耕作地として利用され、これより高い上段に居住していたと推測されます。これまで行った中島遺跡の調査では、耕作地としての利用は、中世にまで遡るようです。古墳時代より以前の川沿いは、川の氾濫原が広がっていたようです。



近世2面全景